

---

## 会 告

---

### 会費納入についてのお願い

昭和 42 年分会費の納入期がまいりました。会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 12 月および 6 月の 2 回に分けて、おのおの 6 カ月分を前納していただくことになっております。

なお昭和 41 年 4 月第 51 回通常総会の決定に基づき会費が下記の通り変更になりましたのでご留意の上、鉄と鋼第 52 年第 12 号 (11 月号)、13 号 (12 月号) 綴込みの振替用紙にて下記によりお払込み下さいますようお願いいたします。

記

**正会員年会費 2,400円、学生会員年会費 1,500円**

宛先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階  
 社団法人 日本 鉄 鋼 協 会  
 郵便振替口座 東京 193 番

---

## Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan

### 購 読 の お 勧 め

本会は、わが国の鉄鋼に関する学術、技術を海外に紹介し、わが国鉄鋼業に対する世界の認識を高め、かつ活発な交流を図る目的をもって英文学術誌「Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan」を年 6 回発行しております。本誌は昭和 36 年に発刊された季刊誌「Tetsu-to-Hagané Overseas」の一層の充実発展を趣旨として昭和 41 年度より改題、増刊したもので、国内はもとより国際的にも日本の代表的かつ最高水準の英文鉄鋼学術誌として認められております。

従来「Tetsu-to-Hagané Overseas」が和文会誌からの翻訳を主体としていたのにひきかえ、本誌は著者の独創的研究成果をまとめた research article、単なる総合報告でなく、著者の独特な見解を十分におこんだ critical review など豊富な内容を誇っております。近い将来には年間 12 号発行の予定です。

本会会員で、和文会誌「鉄と鋼」に加えてさらに本誌の購読を希望される方には、1,200 円の追加料金で両誌が定期的に配布されます。また和文誌「鉄と鋼」にかえて本誌のみの購読を希望される方には、追加料金なしで、本誌が年間 6 冊配布されます。(なお本誌の非会員に対する定価は 1 冊 1,000 円です。)

鉄鋼の技術研究に関して世界に先がける豊富な知識を得るため技術者研究者の必読の書としてお勧めいたします。本誌購読希望の方は別紙申込葉書空欄に必要事項をご記入のうえ、本会宛ご郵送下さい。

#### 欧 文 誌 購 読 料

	追加料金
「鉄と鋼」に加えてさらに「Trans., I.S.I.J.」を購読	年額 1,200円
「鉄と鋼」にかえて「Trans., I.S.I.J.」のみ購読	追加料金不要

## 日本鉄鋼協会行事案内

開催月日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会告
1月 27, 28日(金, 土)	第8回技術講座(東京)	申込不要	N 3
2月	JIS 鋼材規格講習会(東京)	申込要	N4~5
2日(木)	〃(名古屋)	〃	〃
6日(月)	〃(大阪)	〃	〃
7日(火)	〃(広島)	〃	〃
9日(木)	〃(北九州)	〃	〃
10日(金)			
15日(木)	第73回講演大会, 第2種講演概要原稿提出	2月15日	
4月	第12回材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム(東京)		N 3
3日(月)	第52回通常総会(東京)		
5日(水)	第73回講演大会, 見学会(東京)		
5, 6, 7, 8日(水, 木, 金, 土)			

### 第73回講演大会, 第52回通常総会

今春開催の第73回講演大会, 第52回通常総会の日程が下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。なお, 詳細については追って会告いたします。

記

と き 第73回講演大会 昭和42年4月5日(水), 6日(木), 7日(金)  
8日(土) 見学会

第52回通常総会 昭和42年4月5日(水)

会 場 東京大学工学部(東京都文京区本郷 7-3-1)

なお, 4月3日(月)には材料の強度と疲労に関する総合シンポジウムが日本金属学会, 日本機械学会, 日本材料学会, 日本学術振興会と共催で行なわれます。

### 第74回講演大会討論会テーマのお知らせ

今秋開催の第74回講演大会における討論会テーマが下記のごとく決定いたしました。多数ご応募下さるようお知らせいたします。

論文募集の詳細については追って「鉄と鋼」会告にてご案内いたしますが, 執筆要領は講演論文寄稿規程に準じます。

記

#### I. 討論会テーマ

1. 高炉におけるカーボン煉瓦の効果について  
(建設時のねらいと実績, 解体結果, 適正使用箇所)
2. 不鎮静鋼塊の凝固と鋼塊性状について  
(セミキルド鋼を含む)
3. 耐候性鋼のさびとその防食効果
4. 鉄鋼生産技術へのR Iの利用  
(加工技術を中心とする)
5. 鉄鋼の格子欠陥

II. 原稿募集方法 詳細は「第74回講演大会講演募集」時に合わせて発表いたします。

III. 原稿締切日 昭和42年5月15日(月)の予定

## 第8回技術講座開催のお知らせ

### — 鋼中の微量元素 —

1. 期 日 昭和42年1月27日(金), 28日(土) 9:30~17:00
2. 場 所 鉄鋼会館8階 大会議室  
東京都中央区日本橋茅場町 3-16 Tel 東京 (03) 669-4851
- 乗物案内 { 都 電—茅場町, 八丁堀二丁目下車  
地下鉄—日比谷線・八丁堀下車, 都営・江戸橋下車  
国 鉄—東京駅八重洲口下車10分 }
3. プログラム
- 第1日(1月27日)  
金属腐食の機構 北海道大学教授 岡本 剛君  
耐候性鋼材 大阪大学名誉教授 多賀谷正義君
- 第2日(1月28日)  
鉄鋼の有害微量元素  
一特にトランプエレメント— 大阪大学教授 足立 彰君  
快削鋼について(S, Pb) 大同製鋼(株)中央研究所長 浅田 千秋君
4. テキスト代 1000円(聴講無料)
5. 連絡先 日本鉄鋼協会  
東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館  
Tel (279) 6021 代表

## 材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム(第12回)

(趣旨) 材料の降伏, 破壊, 疲労およびクリープなど強度上の諸問題は, 物理学, 化学, 応用数学, 金属学, 材料学, 応用力学などの分野に関連した interdisciplinary な学問分野であります. そこで関連諸学会共催の下にこれらで毎年春, 表記シンポジウムを開催して来ましたが, 毎回極めて盛会であります. 今回は前回に引続いて下記のように, 微視と巨視の結びつきに重点をおき, 最近の研究発表, 総説, 展望的解説, 問題点の提起, 活発な討論等を行ないたいと思います.

共 催 日本金属学会, 日本鉄鋼協会ほか5学会

日 時 昭和42年4月3日(月) 9:15~17:20

会 場 東京大学工学部 2号館大講義室

### 題目および講師

鉄鋼の降伏強度の転位論 東大理 鈴木 秀次君

金属強度の電子顕微鏡的研究 金材研 藤田 広志君

金属材料と高分子材の強度と破壊の

類似性と相異点について 学習院理 大川 章哉君

超強力鋼の強度と強化機構 東大工 荒木 透君

屋 食

X線による金属材料強度の研究

京大工 平 修一君

低サイクル疲労における切欠効果

東大工 飯田 国広君

材料強度学, とくに材料破壊と疲労に

関する最近の研究動向 東北大工 横堀 武夫君

高速荷重による材料の変形と破壊

京大工 田中吉之助君

鋼材の時効と強度および変形

東北大工 川崎 正君

参加無料

テキスト申込先:

仙台市大町 3-165 東活ビル 日本金属学会

## 九州支部渡辺義介記念講演会のお知らせ

本会九州支部では下記により昭和41年度渡辺義介記念講演会を開催いたしますので, 多数会員の参加下さるようご案内いたします.

日 時 昭和42年2月17日(金) 13:30~15:30

場 所 八幡製鉄所技術研究所

(北九州市八幡区技光 1-1)

講 師 九州大学工学部教授 八木真之助君

演 題 溶鋳炉研究の今昔

## JIS 鋼材規格に関する講習会

**共 催** (財)日本規格協会・(社)日本鉄鋼協会

**後 援** 工業技術院・東京通商産業局・名古屋通商産業局・大阪通商産業局・四国通商産業局  
 広島通商産業局・福岡通商産業局

**協 賛** 日本機械学会・電気学会・電気通信学会・土木学会・日本建築学会

JIS 鋼材規格は現在までに97規格(G部門のみ)あって、各産業界に広く利用されていますが、鉄鋼業の目覚ましい進歩に即応した品質水準に鋼材規格を引上げるべく検討が進められ、本年までに一般構造用圧延鋼材をはじめ溶接構造用圧延鋼材、ボイラ用圧延鋼材、機械構造用炭素鋼鋼材、構造用合金鋼鋼材、熱間圧延軟鋼板など普通鋼・特殊鋼の基本的な規格が大幅に改正されました。この機会に JIS 鋼材規格の円滑な運用をはかるため関連産業界の設計者、使用者、販売者、製造者を対象とし、改正鋼材規格を中心に鋼材規格の内容解説、使用上の注意事項、使用実例などについて斯界の権威者による講習会を開催することにいたしました。各業界関係者の方々の多数ご参加をいただきたくご案内申し上げます。

### 期日および開催地

開催地	期 日	会 場	所 在 地	乗 物
東 京	2月2日(木)	日本規格協会大講堂	東京都港区赤坂 4-1-24	都電、都バスおよび地下鉄丸の内線 銀座線赤坂見付下車徒歩5分
名古屋	2月6日(月)	愛知県中小企業会館	名古屋市市中村区堀内町	
大 阪	2月7日(火)	日本経済新聞社7階講堂	大阪市東区高麗橋 1-1	大阪駅前より市バス④、⑭「堺筋あべの橋行」に乗車、「高麗橋」下車 東へ150m左側
広 島	2月9日(木)	広島商工会議所	広島市基町5-44	
北九州	2月10日(金)	八幡製鉄教育センター	北九州市八幡区中尾 町1	

### 講習課目、時間および講師

9:30	挨拶			
9:40~10:30	JIS 鉄鋼規格について —規格体系、現状、計画、外国規格など—	工業技術院 材料規格課長	木下 亨君	
10:30~12:20	JIS 普通鋼鋼材規格について —SS, SM, SPH, SPC など改正規格中心— (東京, 名古屋, 大阪) 川崎製鉄(株)千葉製鉄所 (広島, 北九州) 八幡製鉄(株)戸畑製造所		清水 政治君 石原 重利君	
12:20~12:30	質疑応答			
12:30~13:30	昼食休憩			
13:30~15:20	JIS 特殊鋼鋼材規格について —構造用鋼, 特殊用途鋼など改正規格中心— (名古屋, 大阪, 広島) 早稲田大学教授 (東京, 北九州) 東京大学教授		長谷川 正義君 荒木 透君	
15:20~15:30	質疑応答			
15:30~15:40	休 憩			
15:40~16:40	JIS 鋼材の使用実例	石川島播磨重工業(株)技術研究所 三菱重工業(株)広島造船所	中村 素君 宇都 善満君	

**聴講料** 1500円 (テキスト代を含む)

**テキスト**: B 5 版 150ページ タイプ謄写

**申込方法**: 参加希望者は申し込み先あて、申し込んで下さい。聴講券をお送りします。定員に達したときはお断りすることがあります。

また期日間際に申込まれたときは、聴講券領収書を当日会場でお渡しします。

申込先：東京会場の方は 東京都港区赤坂4丁目1番24号 日本規格協会標準課  
 名古屋会場の方は 名古屋市中区栄町2丁目6番12号 白川ビル内 日本規格協会名古屋支部  
 大阪会場の方は 大阪市東区安土町2の1 安土町野村ビル内 日本規格協会関西支部  
 広島会場の方は 広島市基町5番44号 広島商工会議所ビル 日本規格協会広島支部  
 北九州会場の方は 福岡市渡辺通り2丁目1街区11号 十八銀行ビル内 日本規格協会福岡支部

.....切.....り.....取.....り.....線.....

### JIS鋼材規格講習会参加申込書

42年 月 日

会社名	所在地			電話
受付 No.	氏名	所 属	連絡者の所属及び氏名	
討 名 分	円		(現金・小切手・銀行振込・振替)	

上記の通り聴講料を添えて ( ) 会場) 申込みます

(財) 日 本 規 格 協 会 御 中

.....切.....り.....取.....り.....線.....

### 8 学 会 互 報 欄

本会会員はすべて主催団体会員に準じた取扱いで参加できます。詳細は主催団体へお問い合わせください。  
 なお、参加またはお問い合わせの際は本会会員の旨を附記して下さい。

行 事 名	開 催 日	会 場	会 費	主 催 団 体	申 込 締 切
各種荷役運搬機械に関する講習会	42. 2月20(月) 21(火) 9:00~	日本化学会講堂	会員 2,000円	港区赤坂4丁目1番24号 Tel (582) 6911 日本機械学会	2月10日
各種溶接法と新しい利用法に関する講習会	42. 2月21(火) 22(水) 9:30~	発明会館地下ホール	〃 2,000円	〃	2月11日
航空原動機に関する講演会	42. 2月28(火)	航空宇宙技術研究所	参加自由	〃	前刷2月16日
内燃機関の工作法に関する講習会	42. 3月16(木) 17(金)	全通会館	会員 2,500円	〃	3月10日
振動診断法に関する講習会	42. 3月22(水) 23(木)	発明会館地下ホール	会員 2,500円	〃	3月11日

## 学協会記事

### 第5回原子力総会シンポジウム開催案内

期 日 昭和42年2月14日(火), 15日(水)  
場 所 国立教育会館(大会議室, 中会議室)  
共 催 日本原子力学会, 日本鉄鋼協会ほか27学協会

#### プログラム

第1日 2月14日  
A会場(大会議室)  
講 演  
原子力平和利用の新長期計画(10:00~10:50)  
原子力第1船(11:00~11:50)  
総合講演  
原子力発電所用濃縮ウラン製造について  
(13:00~16:30)  
B会場(中会議室)

講 演  
放射線化学(11:00~11:50)  
パネル討論会  
プルトニウムの利用について(13:30~16:30)  
第2日 2月15日(水)  
A会場(大会議室)  
総合講演  
液体金属について(10:00~12:00)  
講 演  
パネル中性子炉の現状と将来(13:30~14:20)  
総合講演  
わが国における放射線防護のあゆみと将来の展望  
(14:20~16:30)

予稿集 実費

### 金属材料の物性と強度に関する測定講習会

主 催 日本材料学会関西支部, 日本鉄鋼協会関西支部  
ほか3学会支部

期 日 昭和42年2月3日(金), 4日(土)10:00~17:30

会 場 大阪科学技術センター4階401号室

#### 講師および題目

第1日 2月3日  
内部摩擦の測定法と材料強度の考え方  
東大工 菅野 猛君  
電子顕微鏡による格子欠陥の観察と欠陥密度の測定  
阪大基 藤田 英一君  
比熱, 示差熱の測定法と物性—金属の相転移を  
中心として 京大理 中西 典彦君

第2日 2月4日

X線回折による材料強度問題の取扱いとその考え方  
京大工 平 修二君

塑性変形による格子欠陥の形成と材料強度の考え方  
東大理 鈴木 秀次君

金属の熱処理と強度 京大工 田村 今男君

参加費 会員 4,000円 非会員 6000円 学生 1000円  
(各々テキスト代含む)

申込先 大阪市西区靱1丁目  
(大阪科学技術センター6階)

日本材料学会 関西支部 Tel 大阪(441)5531

申込締切 1月25日(水) 定員 100名